第65期
（ 2022年1月～2022年12月）

環境活動レポート

COPREC

■目次

１．組織の概要
２．EA21推進組織図及び役割責任
３．対象範囲
４．環境経営方針
５．環境目標とその実績
６．環境経営活動計画と実施状況の評価　及び次年度の取組内容
７．環境関連法規への違反・訴訟等の有無
８．代表者による取組結果の評価

2023/04/04作成

株式会社コプレック

■１．組織の概要

１．会社概要

商号	株式会社コプレック
所在地	〒436-0026 静岡県掛川市下垂木２３６１
TEL	0537-24-5280
FAX	0537-24-3743
URL	http://www.coprec.co.jp
代表者	代表取締役　小林永典
資本金	1000万円
従業員数	65人（2023.04.04現在）
事業内容	多品種･少量･短納期による精密板金加工。太陽光発電事業

２．環境管理責任者氏名及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者	小林永典
TEL	0537-24-5280
FAX	0537-24-3743
MAIL	info@coprec.co.jp

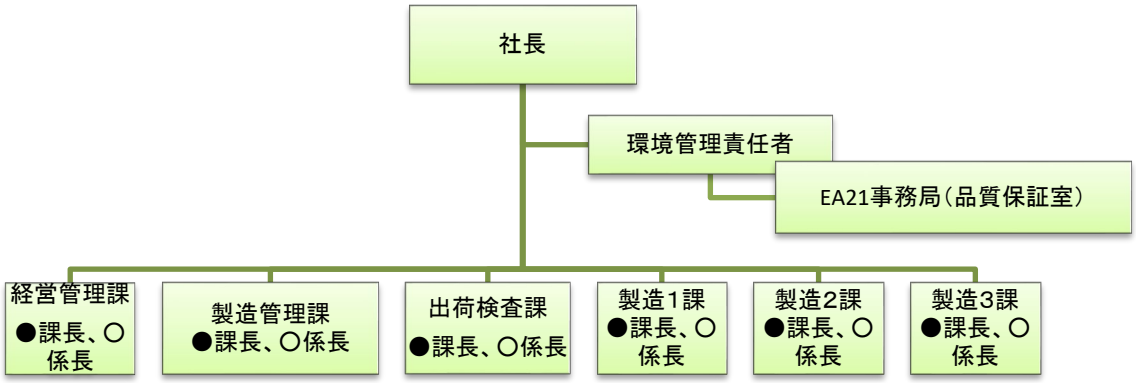
３．事業の規模

事業項目		単位	2020年	2021年	2022年
従業員数		名	60	60	65
事業所の面積	土地	㎡	11,085	11,085	11,085
	建物	㎡	6,482	6,482	6,482
発電量		kwh	181,546	181,546	181,546

４．沿革

1951年	創業（掛川市城西）
1958年	有限会社に改組
1968年	株式会社に改組「株式会社小林プレス」
1969年	現在地に移転（掛川市下垂木）
1980年	◎金型工場新築
1983年	◎プレス工場増築
1984年	◎板金工場・食堂・会議室新築
1987年	小林康男　社長就任（現会長）
1990年	◎組立工場新築・プレス工場・事務所増改築
1992年	社名変更「株式会社コプレック」
1998年	◎新板金工場　新築
2004年	◎事務所増改築
2006年	エコアクション２１の取組みを開始
2007年	ISO9001を取得
2013年	小林永典　社長就任（現社長）
2015年	◎西５工場新築
2018年	◎食堂を改築
2019年	ISO9001を返上
2019年	◎事務所と西２工場を建替

R07. EA21推進組織図及び役割責任



■役割と権限

社長

・全体の評価と見直し
・環境方針の作成を行い、全社に周知徹底する。
・環境方針、環境目標達成するための資源（ヒト、モノ、カネ）の準備を行う。
・環境管理責任者が設定した環境目標の承認を行う。
・環境管理責任者の任命をおこなう。
・品質保証室のメンバーの任命を行う。

環境管理責任者

・環境目標の作成を行い、社長の承認を得る。全社に周知徹底する。
・環境管理システムの構築、推進を行う。
・環境活動レポートを作成する。
・環境法令の確認、遵守状況の確認を行う。

EA21事務局

①法規制等の把握及び監視測定、届出等、法規制等のすべて
②EA21ﾏﾆｭｱﾙの見直し・改定
③環境活動レポートの作成・維持
④環境活動計画の実績把握
⑤教育・訓練の実施及び記録
⑥その他環境管理責任者の支援

課長

・環境目標を元に、チームメンバーと共に環境活動を行う。その実施責任を持つ。
● ・是正処置の実施を行う。

係長

・課長を補佐する。
○ ・課長が不在の場合、課長を設定していない場合には
・課長と同様の活動を行う。

2021/05/05改定

■２． 対象範囲

１． 認証登録範囲

全事業所、全従業員による全活動

２． レポート の対象期間および発行日

対象期間	2022年1月～同年12月
発行日	2023年4月4日

株式会社コプレック　環境経営方針

【 環境理念】

私達人類が持続可能な発展を遂げるために、
「 次世代以降に資源・ 地球環境を残すこと」が社会共通の課題であり、
また企業の社会的責任であることを認識し、積極的な環境活動を行う。

【 環境方針】

【 １省資源・ 省廃棄】

資源の柱を３つにわけ考える。

①エネルギー（ CO_2の削減）
エネルギーを消費することによりCO_2が発生する。
CO_2を削減するために、エネルギーの「 使用量を削減し」
エネルギーの「 使用方法を見直し」CO_2の発生量を削減する。

②水（ 節水）
水の使用量を削減する。

③物質（ 廃棄物の削減）
a. 不良品の削減
不良発生による再作成のための資材や
エネルギーなどの資源はとても大きい。
不良削減は営業的にも環境的にも重要なテーマである。
b. 資源は効果的に投入する
不必要な物を投入すると、それは廃棄物になる。
廃棄物の量を削減するために、効率向上で必要量を削減→
投入量を削減→環境考慮の処理方法を行い廃棄物の削減に努める

【 ２グリーン購入・ 環境配慮製品の生産】

グリーン対象製品を積極的に購入する。
環境に配慮した製品を生産する。

【 ３管理体制の整備】

環境管理体制を整備し、環境経営の継続的な改善に努める。

【 ４法規の遵守周知徹底】

環境関連法規、条例及び当社が規定したその他事項を遵守する。

【 ５周知徹底】

この方針は全従業員に周知徹底し、その実施および達成に努める。

株式会社コプレック
代表取締役社長
小林永典
2008/01/01 制定
2022/05/05 改定

R16-05. 環境経営目標とその実績（ R05環境目標実績）

対象期間（ 2022/01～2022/12）

番号	環境経営目標項目	2022								2023年予定		2024年予定		2025年予定	
		指標	目　　標		実績				対目標比						
			目標策定基準	目標	実使用量		実績			目標策定基準	目標	目標策定基準	目標	目標策定基準	目標
1	電力使用量の削減（ CO2排出量の削減）	電力使用量	2017年実績の5%削減	0. 381	450, 572	kg-CO2	0. 283	売上金額千円当CO2排出量	74. 30%	2017年実績の5%削減	0. 381	2017年実績の5%削減	0. 381	2017年実績の5%削減	0. 381
2	燃料使用量の削減（ CO2排出量の削減）	軽油	2017年実績の5%削減	0. 017	24, 464	kg-CO2	0. 015	売上金額千円当CO2排出量	92. 21%	2017年実績の5%削減	0. 017	2017年実績の5%削減	0. 017	2017年実績の5%削減	0. 017
3		ガソリン	2017年実績の5%削減	0. 003	2, 447	kg-CO2	0. 002	売上金額千円当CO2排出量	50. 70%	2017年実績の5%削減	0. 003	2017年実績の5%削減	0. 003	2017年実績の5%削減	0. 003
4		灯油	2017年実績の5%削減	0. 006	6, 108	kg-CO2	0. 004	売上金額千円当CO2排出量	65. 94%	2017年実績の5%削減	0. 006	2017年実績の5%削減	0. 006	2017年実績の5%削減	0. 006
	二酸化炭素排出量総量	Kg-CO2	2017年実績の5%削減	483, 099	483, 591	kg-CO2	483, 591	Kg-CO2	100. 10%	2017年実績の5. 0%削減	483, 099	2017年実績の5. 0%削減	483, 099	2017年実績の5. 0%削減	483, 099
5	上水道使用量の削減（ 総排水量の削減）	上水使用量	2017年実績の5%削減	2. 850	3, 587	L	2. 255	売上金額百万円当m3	79. 13%	2017年実績の5%削減	2. 850	2017年実績の5%削減	2. 850	2017年実績の5%削減	2. 850
6	紙の排出量の削減	リサイクル排出紙	2017年実績の6%削減	2. 632	375	kg	0. 236	売上金額百万円当kg	8. 96%	2017年実績の6%削減	2. 632	2017年実績の7%削減	2. 604	2017年実績の7%削減	2. 604
7	サービスにおける環境配慮： 歩留まり率の向上	購入材に対してスクラップ率	2017年実績の5ポイント 削減	33. 83%	--- ---	--- ---	39. 63%	スクラップ率%	-5. 80	2017年実績の5ポイント 削減	28. 88%	2017年実績の5ポイント削減	28. 88%	2017年実績の5ポイント削減	28. 88%
8	グリーン購入の推進	全体への啓蒙	---	---	---	---	---	---	---	これまでの推進で購入物が定常化されており、グリーン購入が定着されているため、取り組みだけ行う。					
9	地域社会の環境保全活動の推進（ 清掃活動）	地域清掃回数	回数	1回			1回	回数	100%	1回／年		1回／年		1回／年	

＊2017年度　中部電力　実排出係数　0. 476Kg-CO2を使用しました。

評価（ 是正処置含む）	今年特筆すべきことは材料費の大幅な高騰、電気代の高騰である。 目標を大きく越えているものが多いのは、材料費の高騰に伴う、販売価格の高騰によるものが大きいと見られる。 仮に昨年と同等の売上量だとしても、販売価格が上がるため売上が上がることになり、売上金額あたりのCO2排出量は下がることになる。 CO2総排出量は対目標比100.10%と全体量は微増だが、2017時点と比べ、売上が134%に対して、CO2総排出量は93%なので、概ね効率化が図られていると見ていいだろう

R06. 環境経営活動計画と実施状況の評価　及び次年度の取組内容

（ 対象期間: 2022/1～2022/12）

目標	実施計画 （ ●: 実施済み　▲: 一部実施済　×: 未実施）																
	目標管理のための取組項目	責任者	管理項目	実施予定タイムテーブル												上段: 実施状況	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	下段: 評価と次年度との取組内容	
1．電気使用量の削減	1-1.エアー漏れの確認と改善	戸田員久	ｽｹｼﾞｭｰﾙ						実施					実施		全体朝礼や掲示板での啓蒙を行った。漏れは発見次第塞いだ。	
			進捗ﾁｪｯｸ						実施					実施		漏れてもすぐに修理を行うようになり、漏れがほとんどなくなった。次年度も継続	
	1-2.不使用時の照明消灯	青山友和	ｽｹｼﾞｭｰﾙ						実施						実施	建設中の西6工場もセンサー式照明を採用した	
			進捗ﾁｪｯｸ						実施						実施	今後設置する照明は基本的にセンサー式にする	
	1-3.照明機器の見直しと改善	青山友和	ｽｹｼﾞｭｰﾙ						確認	実施				確認	実施	建設中の西6工場もLED照明を採用した	
			進捗ﾁｪｯｸ						確認	実施				確認	実施	省エネで照度も高くなり良い	
	1-4.未使用加工機の節電PR	小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ					実施								習慣づけが定着されている	
			進捗ﾁｪｯｸ					実施								自動化も進めているので効果が出ている	
2．燃料使用量の削減	2-1.運転の仕方の啓蒙	小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ					実施					実施			社内での勉強会を行い、啓蒙とデータ収集をおこなった	
			進捗ﾁｪｯｸ					実施					実施			実情や正確な知識がついた。次年度も継続	
	2-2.効果的なヒーター使用の啓蒙	小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ										実施			適温にするように朝礼などにより啓蒙	
			進捗ﾁｪｯｸ										実施			無駄な使用がなくなってきた。次年度も継続	
3．水使用量の削減	3-1.節水PRラベルの掲示	小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ					実施						実施		ラベル掲示を実施。	
			進捗ﾁｪｯｸ					実施						実施		毎日の使用量チェックが完全に仕組み化されている。無駄な漏水に気づけるようになった。次年度も継続実施	
4．廃棄物の削減	4-1.不良品の削減	小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	不良発生時の扱いを随時変更。	
			進捗ﾁｪｯｸ	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	量が減ってきている。次年度も継続実施	
5．製品・サービスに於ける環境配慮		小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	エネルギーの効率利用や廃棄物削減を朝礼などで啓蒙している	
			進捗ﾁｪｯｸ	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	エネルギーの効率利用や廃棄物削減の意識が浸透してきた。継続	
6．グリーン購入の推進		小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	経営計画書に地球環境に関するセクションを追加	
			進捗ﾁｪｯｸ	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	次年度以降、随時内容を追加していく	
7．地域社会の環境保全活動の推	5-1.工場周辺の清掃活動の実施	鈴木雄二	ｽｹｼﾞｭｰﾙ								実施				実施	環境整備活動の月次計画に含めた	
			進捗ﾁｪｯｸ								実施				実施	計画に沿って実施された。次年度も継続実施	
8．教育訓練	6-1. エコアクション勉強会	小林永典	ｽｹｼﾞｭｰﾙ			実施					実施					経営計画書に地球環境に関するセクションを追加	
			進捗ﾁｪｯｸ			実施					実施					次年度以降、随時内容を追加していく	

R16-8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

１）当社に適用となる主な環境関連法規への違反　（ 2022年4月現在）

法規則名	主要な法規制等	順守状況
・循環型社会形成推進基本法 ・廃棄物処理法 ・静岡県環境基本条例 ・静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	①廃棄物の減量化 ②廃棄物の適正処理の確保 ③地方公共団体の施策への協力	順守
	④回収又は処分は定められた業者に委託	順守
	①廃棄物の減量化 ②廃棄物の適正処理の確保	順守
	③産業廃棄物の保管基準の順守 ④廃棄物の飛散・流出・地下浸水の防止	順守
	⑤産業廃棄物の処理委託基準の順守	順守
	⑥産業廃棄物の委託契約書の記載事項の順守	順守
	⑦産業廃棄物管理票の管理義務	順守
	⑧マニフェストの交付状況の報告	順守
	⑨産業廃棄物管理責任者の設置 ⑩産業廃棄物処理の委託先の実地確認と記録の保存 ⑪不適正な処理に対する措置と県への報告	順守
・騒音規制法 ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 ・特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	①特定施設の設置・変更等の届出 ②規制基準の順守義務 ③特定工場の届出 ④公害防止管理者及び代理者の選任と届出 ⑤公害防止統括者及び代理者の選任と届出	順守
・振動規制法 ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 ・特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	①特定施設の設置・変更等の届出 ②規制基準の順守義務 ③特定工場の届出 ④公害防止管理者及び代理者の選任と届出 ⑤公害防止統括者及び代理者の選任と届出	順守
・家電リサイクル法	知事に届出	順守
・フロン排出抑制法	①廃棄する場合フロン類回収業者にフロン類を引渡さなければならない ②行程管理制度遵守 委託確認書の交付 引き取り証明書、契約書 ③簡易点検	順守
・自動車リサイクル法	①自動車の長期間使用 ②使用済自動車は引取業者に渡さなければならない	順守
浄化槽法 静岡県浄化槽法施工細則	①浄化槽の届け出 ②浄化槽の清掃、点検義務 ③法定検査（水質基準の順守）	順守

２）関係当局、及び地域からの違反、苦情等（ 過去3 年間）

環境関連法規等への違反、訴訟等は、過去3年間ありませんでした。
また、関係当局、及び地域からの指摘や苦情はありませんでした。

R16-9. 代表者による取組結果の評価

実施状況の全体評価 実施日： 2023/04/04	１） 全体評価 材料費の高騰により売上金額当たりの比較が難しくなっているが、実感値としてはエネルギー効率は良くなってきていると見える 来期もさらなる電気代の高騰が予測されることもあり、引き続き省力化に務める ２） 目標別評価 軽油（売上当）：目標達成。商圏が広がっており顧客が遠方になってきているため。トラック導入時に効率的な製品の選択等務める ガソリン（売上当）：目標達成。コロナが開けてきて客先訪問も増えると見られるが改善に務める 灯油（売上当）：目標を達成している。引き続き改善に努める CO2排出量（総量）：対目標比100.10%と全体量は微増だが、 2017時点と比べ、売上が134%に対して、CO2総排出量は93%なので、概ね効率化が図られていると見ていいだろう 水（売上当）：目標を達成している。引き続き改善に努める 紙（売上当）：目標を達成している。引き続き改善に努める スクラップ率：目標を達成している。材料効率は作業効率とのトレードオフな関係でもあるため判断が難しいが、引続き改善に努める ３） 法規制の順守への対応 今までも問題はないが、お客様の環境に対する意識は日に日に高まっていくのを感じる。